



D-COMMUNE Software Licence Service インストールガイド

目次

1. はじめに	
1-1 本ガイドを利用するにあたって	3
1-2 動作環境	3
1-3 本ガイドで説明する環境について	4
1-4 事前の準備	4
2. ミドルウェアのインストールとセットアップ	
2-1 本章の注意事項	5
2-2 OS インストール時の注意	5
2-3 ソフトウェアパッケージの展開	5
2-4 Apache のインストール	6
2-5 MySQL のインストール	7
3. D-COMMUNE のインストール	
3-1 D-COMMUNE のインストール	9
3-2 インストールの完了	9
4. D-COMMUNE のリカバリ	
4-1 バックアップからのリカバリについて	10
4-2 バックアップファイルの用意	10
4-3 リカバリの手順	10
5. その他の設定	
5-1 SSL 対応について	12
6. 参考	
6-1 その他の OS へのインストール	13
6-2 前提条件	13
6-3 OS, ミドルウェアの設定	14
6-4 アプリケーションの配置	18
6-5 パラメータの設定	19
6-6 DB の作成、ユーザの作成	20
6-7 ミドルウェアの再起動と通信確認	21

1 はじめに

1. はじめに

1-1 本ガイドを利用するにあたって

本ガイドは D-COMMUNE ソフトウェアを、お使いの環境へインストールするための手順を説明しています。
本ガイドに掲載しているインストール手順は、基本的には root アカウントで作業していただく前提となっています。

1-2 動作環境

■ D-COMMUNE Software の動作環境

D-COMMUNE Software の動作環境は、下表のとおりとなっています。
若干のバージョンの違いによっては、問題なく稼動する可能性があります。動作検証・保障は下表のバージョンにて行います。あらかじめご了承ください。

OS

・ OS	RedHat Enterprise Linux 4 (x86) / CentOS4 (x86) RedHat Enterprise Linux 5 (x86) / CentOS5 (x86)
------	--

ハードウェア

・ CPU	Intel x86 アーキテクチャ CPU
・ メモリ	512MB 以上
・ ハードディスク容量	100MB 以上 (OS/ データ保存領域は別途必要です)

ミドルウェア

・ Web サーバ	Apache 2.0
・ AP サーバ	Tomcat 5.5 (JDK1 .5.0)
・ DB サーバ	MySQL 5.0

インストールには、ミドルウェアのインストール、各種コンフィグファイルの設定が必要です。

Web ブラウザ (管理ツール)

・ Windows	Internet Explorer 6.X/7.X Firefox 1.5/2.0
-----------	--

Linux 版 /Mac 版は、動作確認対象外です。

1 はじめに

1-3 本ガイドで説明する環境について

本ガイドでは、1-2. に示した環境に対して、D-COMMUNE Software をインストールする場合を想定して、各種コマンドや設定内容を記載しています。

推奨環境と異なる環境へインストールする場合には、それぞれの環境に応じた対応をお願いします。また、推奨環境以外の環境へのインストールは、動作保障対象外となります。あらかじめご了承ください。

1-4 事前の準備

D-COMMUNE Software のインストールを開始する前に、D-COMMUNE のホームページより、ライセンスの登録を行ってください。

<http://www.d-commune.jp>

2 ミドルウェアのインストールとセットアップ

2. ミドルウェアのインストールとセットアップ

2-1 本章の注意事項

本章では、D-COMMUNE Software を動作させるために必要な、ミドルウェアのインストール手順を記載しています。

ミドルウェアのインストール/設定については、一般的な内容を記載していますが、実際の環境や管理ポリシーによって、手順が異なる場合があります。その場合は、各ミドルウェアのドキュメント等をご参照の上、インストールしてください。

2-2 OS インストール時の注意

■ RHEL4 / CENTOS4 の場合

OS インストール時に、「カスタム」パッケージを選択し、パッケージ選択画面で「最小」を選択します。

■ RHEL5 / CENTOS5 の場合

OS インストール時に、ソフトウェアセットの選択画面で「server」のみを選択し、「今すぐカスタマイズ」オプションを選択します。「サーバ」カテゴリ内で「MySQL データベース」「web サーバ」「メールサーバ」を選択します。(このとき、web サーバのオプションパッケージで tomcat は選択しないで下さい。)

2-3 ソフトウェアパッケージの展開

製品 CDROM から、ソフトウェアパッケージをサーバ上へコピーします。

□対象ファイル dcm_001p_x.x.x.tar.gz (例：dcm_001p_1.1.5.tar.gz)

ソフトウェアパッケージを展開します。

```
tar -xvzf dcm_001p_x.x.x.tar.gz
```

2 ミドルウェアのインストールとセットアップ

2-4 Apache のインストール

■ RHEL4 / CentOS4 の場合

Web サーバーをインストールします。

```
yum install httpd httpd-devel mod_ssl
```

インストールされる内容を確認の上、"y" を入力し、インストールを行います。

Apache を起動します。

```
service httpd start
```

OS 起動時に、Apache が自動起動するように設定します。

```
chkconfig httpd on
```

■ RHEL5 / CentOS5 の場合

Web サーバの開発パッケージをインストールします。

```
yum install httpd-devel
```

インストールされる内容を確認の上、"y" を入力し、インストールを行います。

Apache を起動します。

```
service httpd start
```

OS 起動時に、Apache が自動起動するように設定します。

```
chkconfig httpd on
```

2-5 MySQL のインストール

■ RHEL4 / CentOS4 の場合

ライブラリをインストールします。

```
yum install perl-DBI
```

2-3 で展開したディレクトリ内の、[middleware/mysql/] ディレクトリ内の RPM ファイルを利用します。

```
rpm -ivh MySQL-server-5.0.27-0.glibc23.i386.rpm  
rpm -ivh MySQL-client-5.0.27-0.glibc23.i386.rpm  
rpm -ivh MySQL-devel-5.0.27-0.glibc23.i386.rpm  
rpm -ivh MySQL-shared-5.0.27-0.glibc23.i386.rpm  
rpm -ivh MySQL-Max-5.0.27-0.glibc23.i386.rpm
```

MySQL を起動します。

```
service mysql start
```

OS 起動時に、MySQL が自動起動するように設定します。

```
chkconfig mysql on
```

データベースの root パスワードを設定します。

```
/usr/bin/mysqladmin -u root password 'PASSWORD'
```

※ PASSWORD の部分に MySQL の root パスワードを入力してください。

2 ミドルウェアのインストールとセットアップ

■ RHEL5 / CentOS 5 の場合

MySQL を起動します。

```
service mysqld start
```

OS 起動時に、MySQL が自動起動するように設定します。

```
chkconfig mysqld on
```

データベースの root パスワードを設定します。

```
/usr/bin/mysqladmin -u root password 'PASSWORD'
```

※ PASSWORD の部分に MySQL の root パスワードを入力してください。

3

D-COMMUNE のインストール

3-1 D-COMMUNE のインストール

2-3 で展開したディレクトリに移動します。

```
(例) cd /tmp/dcm_001p_1.1.5/
```

・セットアップスクリプトを実行します。

■ RHEL 4 / CentOS4

```
./setup_ver4.sh
```

■ RHEL 5 / CentOS5

```
./setup_ver5.sh
```

画面の指示に従い、1-4 で取得したライセンスキーを入力します。

```
D-COMMUNE Licence ID :
```

D-COMMUNE を動作させるサーバのホスト名 (Apache に設定する ServerName) を入力します。

```
ServerName for Virtual Host :
```

MySQL の root パスワードを入力します。

```
MySQL root user password :
```

3-2 インストールの完了

以下の URL にアクセスし、動作確認を行います。

(ユーザ画面)

<http://ホスト名/>

(管理者画面)

<http://ホスト名:8890/>

4

D-COMMUNE のリカバリ

4. D-COMMUNE のリカバリ

4-1 バックアップファイルからのリカバリについて

定期バックアップファイル、または手動バックアップファイルを用いて、D-COMMUNE をリカバリするには、以下の手順に沿って、リカバリを実施してください。

4-2 バックアップファイルの用意

D-COMMUNE Software 管理ページもしくは、バックアップファイルを転送している FTP サーバ等により、バックアップファイルを取得してください。

(例: dcm_backup_200701010200.tar.gz)

4-3 リカバリの手順

root 権限を持つユーザーにて、リカバリを実施します。

バックアップファイルを作業ディレクトリに展開します。

```
(作業ディレクトリにて)  
tar -xvzf [バックアップファイル (tar.gz)]
```

DCM_HOME を復元します。

```
cd dcm_home  
rm -rf $DCM_HOME/*  
mv * $DCM_HOME/  
cd ..
```

データベースを復元します。

```
cd db  
mysql -u root -p  
[パスワード入力]  
mysql> drop database [データベース名];  
mysql> create database [データベース名];  
mysql> grant all privileges on [データベース名].* to [データベースユーザー名]@'localhost' identified by '[データベースユーザーパスワード]';  
exit  
mysql -u [データベースユーザー名] -p [データベース名] < db_backup.sql  
[パスワード入力]
```

Apache を再起動します。

```
/etc/init.d/httpd restart
```

管理画面、ユーザー画面へログインし、データが正しく復元されているか確認して下さい。

ユーザー画面

[http:// ホスト名 /](http://ホスト名/)

管理者画面

[http:// ホスト名 :8890 /](http://ホスト名:8890/)

5

その他の設定

5-1 SSL 対応について

D-COMMUNE を SSL サイトとして構成するためには、Apache の ssl.conf を修正します。
証明書ファイルは、適切に配置してください。

対象ファイル : /etc/httpd/conf.d/ssl.conf

修正内容

- 管理者サイト SSL アクセス用の TCP ポート
- VirtualHost の設定
- 既存の 443 ポートの設定削除

```
Listen 6443
```

```
<VirtualHost *:443>
```

```
DocumentRoot [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-user
```

```
ServerName xxx.xxx.com
```

```
JkMountFile [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-user/jk-map.properties
```

```
Alias /dcm-user/resource [ ホームディレクトリ ]/resource
```

```
RewriteEngine on
```

```
RewriteRule ^/$ /dcm-user/user/u0000A01Action.do [R]
```

```
RewriteRule ^/dcm-user/$ /dcm-user/user/u0000A01Action.do [R]
```

```
SSLEngine on
```

```
SSLCipherSuite ALL:!ADH:!EXPORT56:RC4+RSA:+HIGH:+MEDIUM:+LOW:+SSLv2:+EXP
```

```
SSLCertificateFile /etc/httpd/conf/ssl.crt/server.crt
```

```
SSLCertificateKeyFile /etc/httpd/conf/ssl.key/server.key
```

```
</VirtualHost>
```

```
<VirtualHost *:6443>
```

```
DocumentRoot [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-admin
```

```
ServerName xxx.xxx.com
```

```
JkMountFile [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-admin/jk-map.properties
```

```
Alias /dcm-admin/resource [ ホームディレクトリ ]/resource
```

```
RewriteEngine on
```

```
RewriteRule ^/$ /dcm-admin/admin/a0000A01Action.do [R]
```

```
RewriteRule ^/dcm-admin/$ /dcm-admin/admin/a0000A01Action.do [R]
```

```
SSLEngine on
```

```
SSLCipherSuite ALL:!ADH:!EXPORT56:RC4+RSA:+HIGH:+MEDIUM:+LOW:+SSLv2:+EXP
```

```
SSLCertificateFile /etc/httpd/conf/ssl.crt/server.crt
```

```
SSLCertificateKeyFile /etc/httpd/conf/ssl.key/server.key
```

```
</VirtualHost>
```

6-1 その他の OS へのインストール

注意) 動作環境以外の OS、環境へのインストールは、動作保障、サポートの対象外となります。
あらかじめご了承ください。

6-2 前提条件

D-COMMUNE をインストールする前に、以下のミドルウェアが正常にインストールされていることを前提とします。
各種ファイル名などは、環境に応じて読み替えて頂きますようお願いいたします。

- Apache 2.0
- MySQL 5.0
- Tomcat5.5
- JDK1.5.0
- JK1.2 (Tomcat-connector)
- MySQL Connector/J
- Log4j

6-3 OS, ミドルウェアの設定

以下の内容を参考に、各ミドルウェア等の設定を行ってください。

□対象ファイル: /etc/profile

```
export JAVA_HOME=/usr/local/java
export ANT_HOME=/usr/local/ant
export PATH=$PATH:$JAVA_HOME/bin:$ANT_HOME/bin
export TOMCAT_HOME=/usr/local/tomcat
export CATALINA_HOME=/usr/local/tomcat
export CLASSPATH=.:$JAVA_HOME/jre/lib:$JAVA_HOME/lib:$JAVA_HOME/lib/tools.jar:\
$CATALINA_HOME/common/lib
export DCM_HOME=[ ホームディレクトリ ]
export MYSQL_HOME=/usr
```

※ \ このマークがついているところは折り返さず 1 行で入力して下さい。

□対象ファイル: /httpd.conf

```
Listen 8890
#

JkStripSession On

<VirtualHost *:80>
DocumentRoot [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-user
ServerName xxx.xxx.com
JkMountFile [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-user/jk-map.properties
Alias /dcm-user/resource [ ホームディレクトリ ]/resource
RewriteEngine on
RewriteRule ^/$ /dcm-user/user/u0000A01Action.do [R]
RewriteRule ^/dcm-user/$ /dcm-user/user/u0000A01Action.do [R]
</VirtualHost>

<VirtualHost *:8890>
DocumentRoot [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-admin
ServerName xxx.xxx.com
JkMountFile [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-admin/jk-map.properties
Alias /dcm-admin/resource [ ホームディレクトリ ]/resource
RewriteEngine on
RewriteRule ^/$ /dcm-admin/admin/a0000A01Action.do [R]
RewriteRule ^/dcm-admin/$ /dcm-admin/admin/a0000A01Action.do [R]
</VirtualHost>
```

(参考)

同じバーチャルホスト内で、静的コンテンツと D-COMMUNE を混在させる場合のサンプルです。

この場合、ドキュメントルートは、/var/www/html/ となり、/dcm-user/ にアクセスすると、D-COMMUNE のトップページにリダイレクトします

```
<VirtualHost *:80>
DocumentRoot /var/www/html/
ServerName demo.d-commune.jp/dcm-user
JkMountFile [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-user/jk-map.properties
Alias /dcm-user/resource [ ホームディレクトリ ]/resource
Alias /dcm-user/css [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-user/dcm-user/css
Alias /dcm-user/img [ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-user/dcm-user/img
RewriteEngine on
RewriteRule ^/dcm-user/$ /dcm-user/user/u0000A01Action.do [R]
</VirtualHost>
```

□ 対象ファイル : **workers.properties**

```
worker.list=wlb,jkstatus,dcm-user,dcm-admin
worker.dcm-user.port=7001
worker.dcm-user.host=localhost
worker.dcm-user.type=ajp13
worker.dcm-admin.port=8001
worker.dcm-admin.host=localhost
worker.dcm-admin.type=ajp13
```

□ 対象ファイル : **usr/local/tomcat/conf/server.xml**

```
<GlobalNamingResources>

<Resource
name="jdbc/mysql"
type="javax.sql.DataSource"
driverClassName="com.mysql.jdbc.Driver"
password="[ データベースユーザーパスワード ]"
maxIdle="2"
maxWait="5000"
username="[ データベースユーザー名 ]"
url="jdbc:mysql://localhost/[ データベース名 ]"
maxActive="4"/>

</GlobalNamingResources>
```

```
<Service
  name="D-Commune-User">
  <Connector
    port="7001"
    redirectPort="7443"
    protocol="AJP/1.3">
  </Connector>
  <Engine
    defaultHost="localhost"
    name="D-Commune-User">
  <Realm className="org.apache.catalina.realm.UserDatabaseRealm"/>
  <Host
    appBase="[ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-user"
    name="localhost" autoDeploy="true" deployOnStartup="true" unpackWAR="true">
  </Host>
  </Engine>
  </Service>
  <Service
    name="D-Commune-Admin">
  <Connector
    port="8001"
    redirectPort="8443"
    protocol="AJP/1.3">
  </Connector>
  <Engine
    defaultHost="localhost"
    name="D-Commune-Admin">
  <Realm className="org.apache.catalina.realm.UserDatabaseRealm"/>
  <Host
    appBase="[ ホームディレクトリ ]/apps/dcm-admin"
    name="localhost" autoDeploy="true" deployOnStartup="true" unpackWAR="true">
  </Host>
  </Engine>
  </Service>
```

context.xml.default ファイルを新規に作成します。

```
mkdir -p /usr/local/tomcat/conf/D-Commune-User/localhost  
mkdir -p /usr/local/tomcat/conf/D-Commune-Admin/localhost
```

作成ファイル : /usr/local/tomcat/conf/D-Commune-User/localhost/context.xml.default

```
<Context path="/dcm-user" docbase="dcm-user" reloadable="false"  
  unpackWAR="true" antiJARLocking="true">  
  <ResourceLink  
    global="jdbc/mysql"  
    name="jdbc/mysql"  
    type="javax.sql.DataSource"/>  
</Context>
```

作成ファイル : /usr/local/tomcat/conf/D-Commune-Admin/localhost/context.xml.default

```
<Context path="/dcm-admin" docbase="dcm-admin" reloadable="false"  
  unpackWAR="true" antiJARLocking="true"  
  antiResourceLocking="true">  
  <ResourceLink  
    global="jdbc/mysql"  
    name="jdbc/mysql"  
    type="javax.sql.DataSource"/>  
</Context>
```

6-4 アプリケーションの配置

製品 CDROM から、ソフトウェアパッケージをサーバ上へコピーします。

□対象ファイル dcm_001p_x.x.x.tar.gz (例: dcm_001p_1.1.5.tar.gz)
ソフトウェアパッケージを展開します。

```
tar -xvzf dcm_001p_x.x.x.tar.gz
```

ホームディレクトリを作成します。

```
mkdir $DCM_HOME
```

dcm_home 配下のファイルを、ホームディレクトリに配置します。

```
cp -r dcm_home/* $DCM_HOME/
```

シェルに実行権限を付与します。

```
chmod +x $DCM_HOME/shell/*
```

6-5 パラメータの設定

バックアップ定義ファイルのパラメータを変更します。

対象ファイル: \$DCM_HOME/dcm.backup.xml

変更内容

- 以下の xml 内の DB パラメータを環境に応じて設定

```
<item>
  <item-name>db_name</item-name>
  <item-value><![CDATA[xxxxx]]></item-value>
  <item-comment> データベース名 </item-comment>
</item>
<item>
  <item-name>db_user</item-name>
  <item-value><![CDATA[xxxxxxxx]]></item-value>
  <item-comment> データベースユーザー </item-comment>
</item>
<item>
  <item-name>db_pwd</item-name>
  <item-value><![CDATA[xxxxxxxx]]></item-value>
  <item-comment> データベースパスワード </item-comment>
</item>
```

D-COMMUNE のライセンス ID を登録します。

Config ファイルをホームディレクトリにコピーします。

```
cp config/dcm.config.xml $DCM_HOME/
```

Config 内の該当箇所を入力します。

対象ファイル: \$DCM_HOME / dcm.config.xml

変更内容: 以下の xml 内にライセンス ID を入力

```
<item>
  <item-name>license_key</item-name>
  <item-value><![CDATA[xxxxxxxx]]></item-value>
  <item-comment> ライセンスキー </item-comment>
</item>
```

6-6 DB の作成、ユーザの作成

展開したアーカイブ内の、"db" ディレクトリを利用します。

```
cd db/
```

mysql に root ユーザーでログインし、データベースとユーザーを作成します。

```
mysql -u root -p  
[パスワード入力]  
mysql> create database [データベース名];  
mysql> grant all privileges on [データベース名].* to [データベースユーザー名]@'localhost' identified by \  
[データベースユーザーパスワード];  
exit
```

※ \このマークがついているところは折り返さず 1 行で入力して下さい。

データベースにテーブルを作成します。

```
mysql -u [データベースユーザー名] -p [データベース名] < DDL.txt  
[パスワード入力]
```

初期データを入力します。

```
mysql -u [データベースユーザー名] -p [データベース名] < init_data.txt  
[パスワード入力]
```

6-7 ミドルウェアの再起動と通信確認

Apache と Tomcat を再起動します。

以下の URL にアクセスし、動作確認を行います。

(ユーザー画面)

<http://ホスト名/>

(管理者画面)

<http://ホスト名:8890/>



D-COMMUNE Software Licence Service インストールガイド Ver1.1.5
2008年5月21日 改訂